

Meetup#07 開催結果

■日時:2023年6月6日(火)13:30~16:30

■場所:浦和コミュニティセンター 第15集会室

■内容:

1. 開会・挨拶

2. 昨年度(R4)のスポBiz埼玉の活動報告・今年度(R5)のスポBiz埼玉の活動予定

3. ワーキング

◆ワーキング①「スポーツ関連産業で取り組みたいこと」

◆ワーキング②「スポBiz埼玉で今後議論すべきテーマ」

- ✓ テーマ1:企業等とチームでのテストマーケティング的な活用場をつくる
- ✓ テーマ2:企業等とチームが連携して埼玉県内の社会・地域課題を解決する
- ✓ テーマ3:マイナースポーツの振興

4. ネットワーキング(交流会)

【ワーキング結果(1/2)】

#	テーマ	内容
1	企業等とチームでのテストマーケティング的な活用場の場をつくる	<p style="text-align: center;">企業・チームのニーズ・シーズの可視化やイベント企画についての議論が白熱した</p> <ul style="list-style-type: none">• 企業・チームのニーズ・シーズを可視化<ul style="list-style-type: none">✓ 企業の課題をチームに伝えてほしい✓ 個別企業のニーズの可視化ができればいい✓ チーム・企業としての課題は何か互いにわからないEx.)新規層の集客・SDGs✓ チームと企業とがお互いの立場を理解し、WINWINの関係を築いていけるように知識の共有を行っていくことが大事と考える• パートナー・サプライヤー獲得<ul style="list-style-type: none">✓ パートナーまたはサプライヤーの関係で物品提供してもらいたい✓ ユニフォームにスポンサー枠を設けて、地元企業の協賛を募る✓ スポーツクラブのピッチによる新たなスポンサー獲得✓ 部活動の応援団がプロスポーツチームの応援をすれば、地元企業の協賛を確保しやすくなるのでは• 企業PR<ul style="list-style-type: none">✓ 集客が上手くいけば企業PRに繋がる✓ 企業はPRと純粋な応援が目的• 集客向上<ul style="list-style-type: none">✓ 潜在顧客層を取り込むソリューション企業とのマッチング等• コラボ商品開発<ul style="list-style-type: none">✓ 人に話したり・勧めたくなくなるくらいのチームや名物・名所(コミュニティー場所)の開発→おらが町の?誇るべきチームと連携した誇るべき名物の開発(消えゆく伝統モノコト場所を使ったり)✓ 子供のころから地元愛が刷り込まれるものが作りたい✓ クラブを巻き込んだものづくりをすれば、クラブの発信力を活用できる✓ スポーツ×健康・スポーツ×食など企業と連携して新たなビジネスに取り組んでいくことが重要と考える• マルチスポーツに向けた取組<ul style="list-style-type: none">✓ マルチスポーツへの取り組みをプロスポーツチームと企業の合同コラボで推進する• イベント企画<ul style="list-style-type: none">✓ 競技横断でのチームファン感謝デー(イベント)を企画するex.)サッカー/ラグビー/アメフト同時に実施✓ 地域企業の声をきいて、イベント等で機会をつくる✓ スポBizとして一つのテーマに向けて企画・意見出しができるとういex.)体験イベントなど✓ モデルチーム・タウン+テーマ設定してスポBiz埼玉day(イベント設計)の企画✓ 紅赤いものとWEリーグで協力(選手来場)してイベントを実施したら、1万人ぐらいの来場があった✓ マルシェをやっている中で、子供の店は利益が上がる傾向がある。チームと子供が連携して、クレーン射撃等の屋台をやったり、スポーツ用具を作って販売したらどうか• 人材交流<ul style="list-style-type: none">✓ 選手を人材として登用するマッチング✓ チーム×企業側との人材交流の仕組みを作る• 財政面での支援<ul style="list-style-type: none">✓ 行政の予算でトライアル予算を補助• 競技人口・認知度増加<ul style="list-style-type: none">✓ 女性スポーツを体験しやすい環境や、用具の貸出で新規の人を巻き込む• 連携する上での問題認識<ul style="list-style-type: none">✓ 県内で盛り上げようとしてもチームの足並みがそろわない✓ チーム側の優先順位とタイミングが合いにくい✓ チーム・企業によって目指す所・フェーズが異なる

【ワーキング結果(2/2)】

#	テーマ	内容
2	企業等とチームが連携して埼玉県内の社会・地域課題を解決する	<p style="text-align: center;">連携のスキーム・座組作りの重要性や、部活動地域移行等の具体的な課題についての意見が交わされた</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ チーム&企業&社会・地域課題の座組の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業と社会課題の座組をつくるのが重要。座組をチームに提案して、チームにとって価値があれば、双方対等な立場となる ✓ コンテンツを企業が作って、チームが場を提供(人を集める)する座組 ✓ プロスポーツクラブはハブになる存在であるため、スポーツ×〇〇で連携できると良い <p>・ 健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 正しい知識・スキルを習得することで県民の健康づくり・各種スポーツへの継続的な参加を期待 ✓ 様々なスポーツを体験できる機会を創出し体力・運動能力の向上に取り組む <p>・ アマチュアスポーツの出口支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業とチームが連携し、アマチュアスポーツの選手の出口支援に繋がる施策を企画(逸材の発掘、チームスタッフの採用)していきたい <ul style="list-style-type: none"> <p>・ 部活動地域移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 部活動の外部委託の議論が始まる中で、チームの資産を活用して、教員の負荷軽減につながる施策を検討していきたい ✓ 部活動地域移行は教員の負担削減という視点ではなく、子供の環境づくりという目線が重要 <p>・ スポーツ関連人口増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 一般の方々へのスポーツ・フィットネス参加率が低いことが業界全体の課題だと思いますので、面白いスポーツやトレーニングの認知イベントを行うのはいかがでしょうか?ex.)スバルタンマラソンをしながら観戦に行く ✓ 子供のスポーツ参画をどうやったら増やせるのだろうか ✓ スポーツ関連人口の拡大、「見る」→スポーツチーム主体、「する」「学ぶ」「支える」←スポBiz埼玉でコンテンツ作り+チームは場所提供
3	マイナースポーツの振興	<p style="text-align: center;">モルックの振興等を具体的な題材としたアイディエーションが盛んに行われた</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ モルック</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ モルックを学校に教えに行くことで認知度向上 ✓ 30-40代のスポーツ実施率の低さをモルックで解決できないか(歩くよりも楽しい) ✓ 中高年~でも日本代表になれる ✓ 高齢者と子供が、自然と交わるスポーツ ✓ モルックDIY ✓ 野球の折れたバットを再利用してモルックを制作(SDGs) ✓ 省スペースであり、多くの年代の人が楽しめるため、裾野を広げやすい ✓ モルックの聖地・産地(例;飯能の西川村)を決めて、サステナビリティのストーリーで発信 <p>・ クリケット</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 在日の人にクリケットニーズがある(元プロ野球) ✓ 日本では知名度が低い世界的な有名な競技のチームを呼ぶのは(例:クリケット) <p>・ 国際大会誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ マイナースポーツの国際大会を誘致 <ul style="list-style-type: none"> <p>・ 認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ハーフタイムショーでの露出や、体験機会の増加 <p>・ マイナースポーツ振興の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 埼玉はスポーツが盛んで強い <p>・ 埼玉の各地域の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ さいたま市はサッカーを起源とした土壌 ✓ 戸田は、体操が有名 ✓ 長瀬は、カヌービレッジがある <p>・ 自走する仕組み作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学のサークルは予算が少ないため、クラウドファンディングをしてみる ✓ 投げ銭は少額(500円~)で支援できる、投げ銭500円~企業10万円の間で支援できる仕組みはどうか ✓ 大会を自走させる仕組みが必要 ✓ 補助金と違うやり方で自走化が必要